

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 障がい者スポーツ振興事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 地域スポーツ課 地域・パラスポーツ振興係 電話番号：058-272-1111(内2623)

E-mail：c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 17,514 千円 (前年度予算額： 17,514 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	17,514	0	0	0	0	0	0	0	17,514
要求額	17,514	0	0	0	0	0	0	0	17,514
決定額	17,514	0	0	0	0	0	0	0	17,514

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

障がい者のスポーツ活動を支援し、障がい者の社会的地位の向上及び自立を支援するために、障がい者スポーツの普及・促進、功労者表彰等の実施に係る経費や運営経費を（一社）岐阜県障害者スポーツ協会へ補助する。

(2) 事業内容

①岐阜県障害者スポーツ協会の組織体制支援

(i) 岐阜県障害者スポーツ協会運営費

様々な側面から県全域の障がい者スポーツ振興を実施する県障害者スポーツ協会の活動に対して支援を実施。

(ii) 障がい者スポーツ普及・強化推進員設置費

障がい者スポーツにおける組織体制強化、普及促進、競技力向上等多岐にわたる事務を補助する職員を配置。

②障がい者スポーツの普及、促進に関する取組

(i) 岐阜県障がい者スポーツ功労者表彰

障がい者スポーツにおける成績優秀者や功労者への表彰を実施。

(ii) 障がい者スポーツ普及・促進事業

ぎふ清流大会の成果を生かし、障がい者スポーツの普及を図るため、障がい者スポーツ団体等の競技会や練習等の活動を支援し、障がい者がスポーツに参加する機会を拡大する。

(3) 県負担・補助率の考え方
県10/10

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	17,514	・事務局運営費：8,877千円 ・普及・強化支援員設置費：2,788千円 ・岐阜県障害者スポーツ功労者表彰：464千円 ・障がい者スポーツ普及促進事業：5,385千円
合計	17,514	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県障がい者総合支援プラン（スポーツによる障がい者の社会参加推進）
- ・清流の国ぎふスポーツ推進計画（障がい者スポーツの推進）

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	障がい者スポーツ振興事業費補助金
補助事業者（団体）	（一社）岐阜県障害者スポーツ協会 （理由） 同団体は、身体、知的、精神の3障がいを対象とした障がい者のスポーツ振興を図るために、障がい者団体及び関係機関が設立し、すべての手帳所持者が加入資格を有する会員数県下最大の障がい者福祉関係団体であり、本事業を推進する組織力、実務遂行能力を有する唯一の団体であるため。
補助事業の概要	（目的） 障がい者のスポーツ活動を支援し、障がい者の社会的地位の向上及び自立を支援する。 （内容） 障がい者スポーツの普及・促進、功労者表彰等の実施に係る経費や運営経費を（一社）岐阜県障害者スポーツ協会へ補助する。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容） （理由）
補助効果	
終期の設定	終期 8 年度 （理由） 清流の国ぎふスポーツ推進計画終期に合わせ、事業継続を検討する。

(事業目標)

<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>障がい者スポーツの振興をするため、岐阜県障害者スポーツ協会の運営を支援し、障がい者スポーツの普及や選手強化等の事業を継続的に実施していく。また、障がい者スポーツの活性化のために、協会による功労表彰や競技別団体の活性化事業の支援を行う。</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H24)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R8)	
					達成率	
①障がい者スポーツを行う団体に対する支援（団体数）	22	30 <small>(推定値)</small>	30	30	30	100%
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	17,514	17,514	17,514

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	障がい者スポーツにおいて優秀な成績を修めたものを讃え、障がい者スポーツに関心を持つ者が参加する機会を確保することで、スポーツに取り組む意欲を育むとともに、障がい者スポーツに取り組む者の裾野を広げることができた。コロナ禍であったものの、必要とする団体への支援を実施することができた。
	指標① 目標：28 実績：21 達成率：75 %
令和3年度	東京パラリンピックでの県内選手の活躍により、障がい者スポーツへの関心が高まり裾野を広げることができた。また、コロナ禍であったものの、必要とする団体への支援を実施することができた。
	指標① 目標：30 実績：30(推定) 達成率：100(推定)%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	<p>県障害者スポーツ協会は、ぎふ清流大会を契機とした取組や、2020年東京パラリンピック後を見据えた取組を実施するための重要な受け皿であり、その運営等を支援していく必要がある。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価) 2	<p>「ぎふ清流大会」の開催を契機に、障がい者スポーツへの関心が高まり、事業効果が現れている。</p>
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	<p>障がい者スポーツへの参加者数や関心が高まり、協会全体の運営費は増加傾向にあっても、補助金額を据え置いて運営できるよう、スポーツ協会が効率化を図っている。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 「ぎふ清流大会(第12回全国障害者スポーツ大会)」で高まった障がい者スポーツへの関心を一過性のものとするのではなく、障がい者スポーツの普及と拡大を図る必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 継続。第2期スポーツ推進計画の5本柱の1つである、「障がい者の活躍を広げるパラスポーツの推進」達成のためにも継続の必要性がある。</p>
--